

高梁市 議会 だより

第22号
2015年5月



岡山県立高梁城南高等学校デザイン科2年 和泉谷まりもさん作品
〔転載禁止〕

3月定例会開催

特集

平成27年度の予算を審議

②

一般質問 ニコが聞きたい!

⑥

委員会報告

⑫

Yakushiin
薬師院

平成27年 3月定例会



平成27年第1回高梁市議会（定例）が、3月5日から23日まで19日間の日程で開催されました。一般質問では、13人の議員が35項目にわたって市政について質問しました。採決の結果、平成27年度一般会計予算案など執行部から提案された議案92件については可決、市民団体などからの陳情2件については1件は不採択、1件は継続審査となりました。昨年より継続審査されていた請願1件は不採択、議員より提出された修正案1件は否決されました。

地方創生事業が盛り込まれた予算を可決

3月定例会では平成26年度最後の補正予算と、平成27年度の予算が審議されました。これらの予算の中には「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいた地方創生のための予算が盛り込まれています。その中でも、プレミアム商品券の発行事業については、プレミアム率をどのように決定するのか、公平性を保つための募集方法などについて複数の議員が質問しました。地方創生事業は本年度に計画を策定、実際の実施は平成28年度以降の予定です。そのほかにも議案質疑では、防災

ラジオの導入や、吹屋の観光案内所が廃止になった後の活用方法、国民健康保険の保険料改定、鳥獣害対策、商工業活性化事業などについて質疑されました。議員からは、落ち込んでいる高梁市の商業振興や道のついかえで国道ではなくった道の市道認定などで執行部へ意見が出ました。

また、4人の議員から、駅前複合施設の建設に関する予算を減額した「平成27年度一般会計予算案に対する修正案」が*動議として提出されました。

いた教育委員長を教育長と一本化する。市長が任命するという制度改正である。教育委員会は行政から独立した立場で運営されるべきである。

「高梁市公民館条例の一部を改正する条例」に反対

20地域の公民館分館が廃止され、人も予算も施設も削減され、地域のコミュニティ活動や市民生活が切り捨てられることになる。

「倉敷市及び高梁市との高梁川流域連携中枢都市圏形成にかかわる連携協約の締結に関する協議について」に反対

東京一極集中から地方分散を行うとしているが、高梁川流域では倉敷市を中心とする協約で、高梁市自身の問題解決にはつながらない。

「平成26年度高梁市一般会計補正予算第7号」に反対

「ゆ・ら・ら」関係の国庫支出金返還金の約7000万円が含まれ

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例」に反対

国が責任を放棄し地方自治体に押し付けるもので、サービス低下や保険料の引上げが想定される。

る。これ以上の税金投入は市民の合意が得られない。

「平成27年度高梁市一般会計予算」に反対

4点について問題がある。

①マイナンバー制度の導入は、多額の予算がかかる。また個人情報流出も危惧され、先進国では利用制限をするなどの事態が起きている。

②吉備国際大学へ1億円もの補助金は高額であり、民生生活支援とのバランスが取れない。

③神原スポーツ公園のサッカー場建設に向け4100万円の予算が組まれていた。この総事業費は5億円とも想定されており問題がある。

④複合施設整備費（にぎわいの施設）の10億8000万円については、市民の間でも、議会でも疑問や反対の声が多くある。

図書館や複合施設の前が含まれている。これは19億円を超える巨額の財政投資であり、具体的な内容を

討論

以下に討論の内容を紹介します。

総論

合併後10年を経過して財政状況の悪化、人口減少と少子高齢化、地域社会の疲弊を目の当たりにすると、これ以上ハードに偏った行政運営を行う事は子ども達にツケを回すだけではないのか。そのことに思いを致さず「今だけ、金だけ、私だけ」という「三だけ主義」に私たちが陥るのであれば、今後高梁の明るい未来像を描くことは不可能であると確信する。

場外馬券場なども市民や議会に対して、知らせない・相談しない・決まってから報告するといった疑義を感じる。また松原地区での場外馬券場の説明会で、地区外の議員の入場に制約をかけたことに抗議をする。

*5ページ参照

示さずCCCとの基本合意書の締結を行い、さらに年間1億5700万円にもよる指定管理料の是非など様々な不確定要素を含んでいる。今後の高梁市の財政状況はもとより、市民サービスと負担のあり方など総合的な見地から修正予算を提出した。

平成27年度高梁市一般会計予算」に賛成

後期基本計画策定前に行なわれた市民アンケートでは、定住促進のために重要なのは半数以上の方が雇用の確保だと回答している。予算には有漢の工業団地の整備などの事業があり、予算案については賛成する。

しかし、外から材料を持ち込み、組み立てた製品を出荷するという企業の誘致だけでは、市内経済への波及は限定的になる。単にインフラ整備でなく、基幹産業の創出と人材育成、研究開発などにも予算を配分すべき。

また、定住対策に重点がおかれて

いるが、雇用創出には目立った事業がない。雇用を生み出し地域に人を残してほしいという気持ちに込めてほしい。

◆◆◆
 今後の高梁市を担う議案であり、多くの仕事をこなしてほしい。駅前の複合施設の修正案には反対する。新図書館については、生まれ変わりが後世に残る図書館、至誠惻怛（しせいそくだつ）・山田方谷先生にならう図書館の建設を望む。

「平成27年度高梁市国民健康保険特別会計予算」に反対

国民健康保険には低所得の方が多く加入している。保険税の引き上げを前提とした予算に反対する。高梁市には1億1000万円の基金もあり、引き上げしないための手立てをすべき。

「平成27年度高梁市介護保険特別会計予算」に反対

国の制度上の問題、利用者のサー

ビスの切り捨て、加入者負担の増などにつながる。

「年金削減の取りやめと最低保障を求める陳情」採択すべき

年金受給者の多くは低年金で、消費税の引き上げや物価上昇などで毎日の暮しは厳しさが増しており採択を求める。

「場外馬券場の設置に反対する陳情」採択すべき

一貫して場外馬券場に反対し警鐘を鳴らし続けてきた。また、先般の地元住民説明会の状況を見ても明らかなどおり、判断を先延ばしすることは、地域住民の不安感情を募らせるだけになり継続審査に反対する。

「場外馬券場の設置に反対する陳情」継続審査に賛成

場外馬券場について、高梁市は市民に対し場外馬券場としての売却の説明がないまま進めている。高梁市では過去に公序良俗に関わる事業



は、市民の力でストップさせてきた。地元合意だけでなく住民投票を行ったもよい案件である。6月議会では採択されるよう求め継続審査に賛成するが、執行部は6月議会を待たず断念するよう求める。

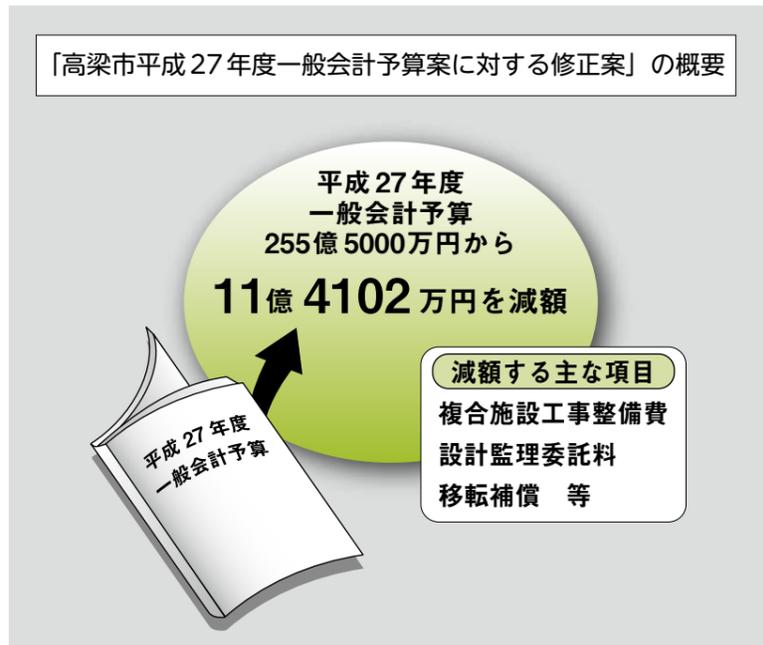
◆◆◆
 場外馬券場の設置は高梁市全体で

考えていくべき問題。早急に可否の結論を出さず住民に情報を提示し、話し合いの時間が必要、多くの意見を織り込み決定すべき。現時点では場外馬券場は建設すべきではないと考える。執行部は独断で進めず、住民に対して常に話し合いの窓口をオープンにしておくことを求める。



修正案が提出されました

議会最終日の採決前に、4名の議員から動議が出され、平成27年度一般会計予算案に対する修正案が提出されました。修正案はその場で審議され、採決の結果修正案は賛成6、反対13で否決されました。



動議って？

予定されている議案以外の議題を議員が提出することです。提出には一定の手続きが必要で、扱いは議長の判断に委ねられています。通常の採決と同様に、過半数の賛同者がいれば可決されます。

3月定例会で賛否が分かれた議案等の議決結果

○賛成 ●反対

件名	石井	石田	石部	黒川	三村	森田	大森	内田	宮田	宮好	小林	柳井	川上	長江	植田	川上	宮田	大月	妹尾	難波		
高梁市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
高梁市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市公民館条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
倉敷市及び高梁市との高梁川流域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成26年度高梁市一般会計補正予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成27年度高梁市一般会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成27年度高梁市一般会計予算（修正案）	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度高梁市国民健康保険特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度高梁市介護保険特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
年金削減の取りやめと最低保証年金制度の実現を求める請願	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「場外馬券場の設置に反対する陳情」は継続審査となりました。また、「高梁市退職職員の再就職に関する取扱要綱策定を検討することを求める陳情書」は、全会一致で不採択となりました。他の議案は全会一致で可決しました。

Q. 古民家(空き家)を再生し、観光・新規起業家のオフィスとして活用してはどうか

A. 来年度、古民家再生に向けた調査委託事業を計画している



ここを聞きました

- 空き家の活用と観光振興について
- 再生可能エネルギー活用事業について

古民家の再生と再生後の活用について

森田 「アクションプラン」の中で検討されている古民家再生事業についてどのような計画を持っているのか。

産業経済部長 吹屋地区においては、4割を超える空き家率となっている。空き家をなんとかしないと観光は成り立たない。このことは地域住民の共通認識となっており、先進地である徳島県祖谷地域の視察も実施されたと聞いている。

今後、吹屋地域の皆さんの取り組みを応援していきたい。市として来年度予算の中で古民家再生に向けた調査委託を計上しており専門家による調査を実施していきたい。

森田 空き家を活用し、地域活性化を図る取り組みの中で、「住みたまち高梁・創造ネットワーク」を立ち上げているが、どのような支援を行っているのか。

ここを聞きました

森田 仲一

- 空き家の活用と観光振興について
- 再生可能エネルギー活用事業について

産業経済部長 空き家・空き店舗に係る情報を発信し、トータルでの移住相談を行っている。起業支援の成果として昨年は栄町・成羽町で出店された成果がある。

再生可能エネルギー活用について

森田 木質バイオ・竹材を活用した事業について、市がもっと関わらざるべきと考えるがどうか。

市長 昨年来実証実験を行ってきた。里山の維持とあわせ地域の住環境を守る事業と認識しており、ハード面(作業機械)については補助事業の活用もあわせ行政で実施すべきと考えている。

Q. 複合施設(図書館)建設計画、馬券発売所の誘致は市民に胸を張って言える政策か

A. 市民に暮らしてよかったと言ってもらえるまちづくりが大事と考えている



ここを聞きました

- 市長の政治姿勢について
- 旧「ゆ・ら・ら」の売却と馬券発売所の誘致について

妹尾 新庁舎では20億円が28億円、駅の橋上化等には13億円、複合施設(図書館)に18億円と高梁駅周辺に60億円もの巨額のお金が使われている。一方、行財政改革として地域コミュニティの元手(原資)となつている公民館の活動補助金などをカットしている。このようなアンバランスな市政運営は大いに問題がある。複合施設(図書館)だけを取り上げても、当初は13億円だったものがいつの間にか15億円になり、平成27年度予算では19億円に膨れあがっている。

しかも、何の説明も議論もなく予算だけがジャブジャブ膨れあがっている。

市長は議会での意見、または市民からの意見に対して「貴重な意見、いただいた意見は真摯に受け

止め今後の施策に生かしていきたいです」と言われるが、自分の思うがままに事業をドンドン進めている。こうした市長の政治姿勢には問題がある。

妹尾 直言

- 市長の政治姿勢について
- 旧「ゆ・ら・ら」の売却と馬券発売所の誘致について

妹尾 旧「ゆ・ら・ら」の売却に伴う場外馬券発売所の誘致は「歴史・伝統・文化を重んじ」また「学園文化都市たかはし」などを掲げて教育、政策を進めてきたことと真逆な政策ではないのか。また、反社会的な勢力が入り込むような事になりはしないか。

政策監 誘致ではなく公募によって応募されたもので、反社会的なものではなく国が認めた公営ギャンブルである。

市長は議会での意見、または市民からの意見に対して「貴重な意見、いただいた意見は真摯に受け

止め今後の施策に生かしていきたいです」と言われるが、自分の思うがままに事業をドンドン進めている。こうした市長の政治姿勢には問題がある。

Q. 市内でお産が出来るようにならないか

A. 市外でも安心して産めるよう、さまざまな施策を行っていきたい



ここを聞きました

- 人口減少問題への対応について
- 学校配置について
- 市道改良について

宮田 市内で子供が産めるようにならないかという声が多くある。定住人口の確保という観点からも重要と思うが、市はどのような対応をしてきたのか。

市長 市内でお産ができる環境づくりに努力している。しかし産科医師だけでなく、助産師や看護師なども確保しなければならず、大変難しいところがある。そこで妊婦さんの意見を聞きながら、ママ・サポート119をスタートさせ不安解消に努めている。また妊産婦医療費の無料化も実施し、子供を産む環境の充実をトータルで図っている。

※ママ・サポート119とは、妊婦さんの希望により、出産予定日や母体の状況等の情報を事前に登録し、緊急を要する場合に119番通報すれば、かかりつけ医療機関への連絡が短縮されスムーズな搬送が可能となるものです。(もしもの時に備え「ママ・サポート119」に登録してください。)

ママサポート119 不妊・不育治療助成
妊産婦医療無料 産後ヘルパー派遣

子供医療費無料 第3子50万円
4子以上100万円

高校生バス通学半額助成 市内私立学校入学金を全額(又は半額)助成

新婚世帯には家賃助成もあります

Q. 産科の設置と夜間小児救急医療の充実で子育ての支援を!

A. 産科の設置は大変厳しい状況にある。小児救急体制充実は努力している



ここを聞きました

- 若者定住に欠かせない子育て支援について
- 学校統廃合と過疎問題について
- 基幹産業としての農業の振興について
- TPP交渉からの撤退について
- 市道、主要農林道の維持管理について

難波 若い定住希望者は市内で妊娠、出産、育児までの相談ができ、分娩もできる病院・産科を求めている。また、夜間の小児救急病院も同様である。この声に応えよ。

健康福祉部長 陣痛時の心配が多く消防本部と協議して「ママサポート・119」を行っており49件の登録がある。産科の設置は大変厳しい状況である。小児救急医療体制は4つの病院で連携してもらっているが時間外は難しい。市が作成している「小児救急ガイドブック」「ホームページ」を活用してほしい。

難波 成羽病院を生かす取り組みはできないか。

病院事務長 産科の開設は、施設、医師、運営面などハードルが高く

難波 高齢化、過疎化の中で、市民のボランティア活動も厳しい状況となっている。市道の草刈りなど奉仕作業に苦慮されている町内会がふえているが対策をどう考えるのか。また、報償費の引き上げを求める。

市道・主要農林道の維持管理について

産業経済部長 地域での作業に感謝する。報償費は現状で、コミュニティの観点から検討できれば考える。

Q. スマートフォン・携帯電話使用のルールづくりを

A. 各種関係団体と協力し情報交換を行う



ここを聞きました

長江和幸

- 小・中学生のスマートフォン、携帯電話使用について
- 市営住宅について

スマートフォン・携帯電話使用について

長江 県教育委員会が、スマートフォン・携帯電話を午後9時以降保護者に預けることを柱としたルールを設けているが、本市はどのように周知されているか。

教育長 統一ルールを指示した。①親が午後9時以降預かる。②ゲームも午後9時以降預かる。③学校で考える場を設ける。

長江 本市のトラブル発生件数はどうか。

教育長 小学校2件、中学校1件である。スマートフォンは正しく使えば便利で効果が大きい。外部講師の導入等正しい使い方を指導する。

長江 子どもたちが自主性を持って取り組むことが大切だ。成羽中学校では取り組んでいるが他校の

状況はどうか。
教育長 他校でも児童・生徒が話し合い、保護者と一緒に考えて実践が進んでいる。今後、校長会、PTA連合会と協力し生徒会執行部を交えて各校の取り組みの情報交換を行う。



高梁中学校運動会

Q. 「まち・ひと・しごと創生法」本市の取り組みは?

A. 市の方向性に関わることであり、体制を強化して策定する



ここを聞きました

内田大治

- 高梁市と総社市で締結した包括連携協定について
- 地方人口ビジョンと地方版総合戦略について
- 学校の統合再編について

地方人口ビジョンと地方版総合戦略について

内田 昨年11月、まち・ひと・しごと創生法が制定され、地方自治体は、地方人口ビジョンと地方版総合戦略を策定することとなった。本市はこの政策をどのように捉えて取り組みをするのか。

政策監 本年1月「総合戦略本部」を設置した。全庁的な取り組みが必要で、事務局体制を強化したい。9月を目途に総合戦略を策定する。

内田 地方創生を図るための有効な総合戦略を策定するに当たっては各分野、各関係者からの意見、提案を集約して策定すべきである。特に農業分野における戦略は重要と考える。

市長 これまで国が全て指針を示

している

していた過疎計画などは異なり、自分たちでつくる計画、市の方向性にかかわると認識している。地域の大勢の人の意見を吸い上げたい。

学校の統合再編について
内田 平成28年度から西山小学校は新見市の野馳小学校に編入される。備中学校の生徒数は今後減少していくが、旧川上郡の中学校3校の統合再編については方向性をもって早急な対応が必要ではないか。

教育長 中学校の統合については一定のビジョンを念頭に置いて進めてきた。手順を追って取り組んでいきたい。来年度から、教育委員会が指導性を持って、当該地域での話し合いを進めていきたい。

Q. 不安、反対意見押し切って駅前複合施設や場外馬券場を進めていくことは、本市にとって最大のデメリットになるのでは

A. 市民の皆様十分な説明をし、その中で方向性を決めていく



ここを聞きました

大森一生

- 公共マネジメント「これからの行政、公務員に求められる資質」とは
- 高梁市の地方創生の基本的方向性とその戦略について
- 創造都市高梁へ向けての潜在的可能性と旧「ゆ・ら・ら」の活用について

「公共マネジメント」公共経営と自治体の労働生産性について

大森 限られた財政、人材の中で、施策のアウトカム(成果)や地域資源を生かした本市の持続可能性の実現が求められている。市長の公共経営について聞く。

市長 行政のあり方も大きく変わってきている。チェック体制を重点にPDCAサイクルを確立した運営をしていく。

大森 公共マネジメントにおける「住民(顧客)の創造」とは、市長のしたいことをするのはなく、住民のニーズはどういったものかを考えることである。それには自治体職員の労働生産性、効率性が重要であると思うが考えを聞く。

市長 多様な市民ニーズに対応するために、職員の人材育成にも力

を入れている。どのようにしたら市民の満足度を上げられるのか、職員と一緒に考えていきたい。

大森 「住民(顧客)の創造」というミッション(使命)が市長と職員の間で共有できているのか。

市長 共有できている。最終の結果責任は私にある。

創造都市高梁への潜在的可能性と旧「ゆ・ら・ら」跡地利用について

大森 場外馬券場では地域の発展性、生産性は限定され、もったいない。施設はサンクコスト(埋没費用)。農業、観光、スポーツなど他の自治体と差別化を図りながら「比較優位性」「場所性」を生かした再生を。

市長 これまでの経緯、経過の中の苦渋の決断だ。

川上 「ゆ・ら・ら」売却による財政面への影響をどのように考えているのか。

Q. 「ゆ・ら・ら」売却による財政面への影響は

A. 福祉等に利益を充てていきたい



ここを聞きました

川上修一

- 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について
- 駅前複合施設について
- 県道新見川上線について

川上 議会の「ゆ・ら・ら」検討協議会からの提案をどのように受け止めているのか。

市長 提言書を真摯に受け止め、当時はあの施設を何とか生かそうと方策を検討した。

川上 「ゆ・ら・ら」売却による財政面への影響をどのように考えているのか。

政策監 今後、財政面では厳しくなることが予想される。売却利益や借地料、入湯税、雇用の発生、特産品販売等いろいろなことが生まれてくる。福祉等に利益を充てていきたい。

川上 複合施設の建設は決定と理解しているが、市として議会の理解がどこまで得られていると考えるのか。

政策監 バスターミナルの位置に建設することは理解いただいていると考える。

川上 C C Cとの指定管理について議会と十分な協議をする気があるのか。

政策監 当然、議会と協議していきたいと考えている。

川上 県道新見川上線について高梁市分の改良が進まないのはなぜか。新見市分はほとんど改良が進んでいる。県の情報を持ってい

ばお聞かせ願いたい。

産業経済部長 西部総合開発基幹道として現在協議されている。未改良部分はほとんど高梁市分で6カ所、延長4750mである。また、道路防災事業として7カ所が上げられている。

9 高梁市議会だより 第22号

Q. 市民要望のない「場外馬券場」はギャンブル施設であり反対する

A. 公営馬券場は福祉の向上にかなっている



ここを聞きました

- 新高梁中央図書館について
- 国民健康保険について
- 旧「ゆ・ら・ら」を場外馬券場として売却することについて
- 高梁市職員労働組合事務所の設置場所について

■ 新高梁中央図書館について

石部 市民と市長が望む図書館建設に違いがある。生涯教育や歴史伝統を守るべき図書館が駅前のにぎわい図書館になっている。CCCは指定管理者として適正で中央図書館機能は保障できるのか。

教育次長 基本構想に基づき水準書を作成する。CCCの活動は教育委員会がモニタリングする。市民の参加は必要である。

■ 国民健康保険について

石部 不況により商売人や農業従事者の収入減、また非正規雇用や年金生活者の増加で生活が大変。国保税の負担軽減を望む。

健康福祉部長 今回は当初予算を組むための3%の引き上げであり、本算定時の引き上げはできるだけ抑制したい。

■ 場外馬券場に反対する

石部 「ゆ・ら・ら」は多額の税金を注ぎ込んだ上に破綻。市民の財産「ゆ・ら・ら」を場外馬券場・ギャンブル施設に売却するのは反対である。また市民に知らせないまま進めていることについて二重の裏切りがある。

政策監 「ゆ・ら・ら」は健康増進施設として役割を果たしてきたと考える。今後は、事業者に決定通知をし仮契約を行いたい。また、その前に地元への説明を手順を踏みながら行いたい。

教育次長 馬券場は教育上、青少年の健全育成、安全面など配慮なされるべき施設である。

市長 施設はやむを得ず売却する。他の公営馬券場施設同様、福祉の向上にかなうと考える。

Q. 自分の進退をかける気概で事に臨んでいるのか

A. 私の覚悟の話であれば、そのつもりだ



ここを聞きました

- 駅前複合施設の建設コスト及び将来にわたる費用負担について
- 旧「ゆ・ら・ら」を地方競馬場外馬券販売事業者へ売却することについて

■ 1億5700万円 CCCとの指定管理料について

宮田 現在の図書館運営予算は年間平均して5000万円程度である。3倍にものぼるCCCとの年間指定管理料1億5700万円をどのように捻出していくのか。

政策監 住民サービスの拡大により経費がふえることはいたし方のないことである。全体として予算調整の中で財源を確保していく。

■ 英コーポレーションは本当に地方競馬の馬券を販売できるのか?

宮田 地方競馬の馬券を売るためには、地方競馬主催者の引き受けが必要となっている。農林水産省に確認したところ現時点では引き受けは成立していない。このよう



老人施設、子ども達の遊具施設、スポーツ公園、宿泊施設など「ゆ・ら・ら」周辺施設の特性に応じた活用策が必要です。

な状況であるが、副市長、政策監は自分の進退をかける気概で事に臨んでいるのか。

副市長 きちつと答弁という質問の内容が私の覚悟の話であれば、そのつもりである。

Q. 薬用作物を研究してはどうか

A. 調査を含め、27年度で取り組む



ここを聞きました

- 本市の基幹産業である農業の施策について
- 道路行政について

■ 本市の基幹産業である農業施策について

三村 高齢化と耕作放棄地がふえている農業について薬用作物による施策を考えるべきではないか。

市長 薬用作物は260種類あり、83%は輸入されている。高梁市にどういったものが必要か検討する価値があると考えます。

三村 薬用作物は今、国の中で旬な話題である。地方創生交付金を使って取り入れてもらいたい。

市長 高梁市に何が適するか、安定的に生産できるか調査が必要である。耕作放棄地の解消対策にもつながるため、産地化できるように平成27年度で取り組む考えである。

■ 道路行政について

三村 県道の改良率が極めて低い。今後、計画策定も含めどのように進めていくのか。

産業経済部長 改良済みとは2車線の道路もあるが場所によっては4以上でも交通事情等により改良済みの箇所もある。新見川上線は98%の改良率になっている。

三村 未着手箇所が改良済みとなっているから改良率が高くなる。今後どのように対応されるか。

産業経済部長 県、国土交通省へ強く要望する。

■ 市道の認定基準について

三村 市道認定基準の「交通事情及び公益的見地から特に市長が必要と認める道路」とはどんな場合をいうのか。

産業経済部長 合併で統一した認定基準を定めており、基準なしに決めるのはどうかと考える。私道の修繕についても平成27年度から補助基準を設けているので活用してもらいたい。

Q. 地域の活性化に場外馬券場は必要ないのでは

A. 神原地区には地域の活性化が必要であると思う



ここを聞きました

- 空き家対策について
- これからの学校教育について
- 旧「ゆ・ら・ら」の売却について

■ 街に人を集める力となる独自性ある教育を

石井 総社市や笠岡市などが英語教育に力を入れている。高梁市でも子供の将来を見据えた教育の独自性を出していくべきではないか。

教育長 変化の激しい社会に適切に対応する力を育成していくという意味から、専門性の基礎づくりをする必要は当然であると認識している。

石井 高梁市では子供に十分な教育ができないために出ていく人もいます。教育が町の魅力になって人が集まることもあるのではないかと。

教育長 高梁市は小規模校が多い。その利点を生かしてそれぞれの学校で取り組んでいる。

■ 女性が住みやすい街には場外馬券場はいらぬ

石井 場外馬券場をつくることは、女性が住みやすいまちづくりに逆行するのではないかと。

政策監 経済的なメリットと、地域に人が来られることでそういう方向性を出していきたい。

石井 道の駅のようなものをつくって観光の拠点にしてほしいという声もある。にぎわいはほしいがギャンブルはいらぬというのが女性の正直な声だ。観光地よりも馬券場がある町として知名度が上がるようなことにならないよう、よく考えてから決定してほしい。

Q. 簡易水道の年次的な改修計画があるのか問う

A. 100%普及を目指す。あわせて、順次、改修を行う



ここを聞きました

- 高梁市の在宅訪問診療の現状について
- 簡易水道について

黒川 高梁市の在宅訪問診療の現状を問う。

健康福祉部長 民間施設を含め3施設があり、いずれも24時間体制で実施している。川上訪問看護ステーションでは平成26年度1月までに訪問診療利用者が実数で423人、訪問件数は1804件である。

黒川 成羽病院の在宅訪問診療の現状を問う。

病院事務長 昨年10月に病院内に訪問看護ステーションを設置した。現在、月に10件程度の訪問診療をおこなっている。今後も地域連携を深め在宅診療、在宅看護の需要に応えていきたい。

黒川 高梁市の簡易水道と上水道の配水管の耐用年数は何年か。

産業経済部長 公営企業法の基準

により40年となっている。

黒川 耐用年数が過ぎた設備など年次的な改修計画があるのか。

市長 古い施設もあり順次、管路修繕を行っている。

黒川 将来、改修などに多額の費用がかかる予想される。また、人口減少による税収の減少や交付税の減額、大型事業の起債償還により厳しい財政状況となるのではないかと危惧している。市民の生活のライフラインについては、あつてもなくてもよいものではない。将来、財源確保のための値上げなど極力しないよう、無駄な事業を抑えて健全な財政運営を行ってほしい。また、「住みやすい高梁」を目指すのであれば、生活にかかる料金が安いことも大きな要素である。

委員会報告

3月16日総務文教委員会、17日市民生活委員会、18日産業経済委員会が開催され、執行部提出の議案と陳情・請願を審査しました。

主な意見

総務文教委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

委員 教育委員長と教育長を一本化し、市長が教育長を任命できることになれば、恣意的に任命されることも懸念され、公平性、透明性確保の観点からも反対する。

(賛成多数で可決)

高梁市公民館条例の一部を改正する条例

委員 合併前の経緯で、公民館活動、コミュニティ活動のあり方を整理することは必要と考えるが、公民館分館の廃止が地域の発展につながらないことから反対する。

委員 新年度では、市民提案型まちづくり支援事業など、地域活動を支援する制度ができており、公民館活動の推進体制を市内公平に整えることには賛成する。

(賛成多数で可決)

倉敷市及び高梁市との高梁川流域連携中核都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

委員 連携中核都市(倉敷市)により多くの資本投下をすることが懸念されるので反対する。

(賛成多数で可決)

平成26年度高梁市一般会計補正予算(第7号)

委員 旧「ゆ・ら・ら」について7000万円近い金額を国庫に返還している。市民合意が得られることではないことから反対する。

(賛成多数で可決)

平成27年度高梁市一般会計予算

委員 マイナンバー制度に関する予算、吉備国際大学の入学奨励金や広報費補助金、複合施設建設予算などが含まれているので反対する。

(賛成多数で可決)

高梁市退職職員の再就職に関する取り扱い要綱策定を検討することを求める陳情書

委員 「地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律」が公布され、退職管理に関することも規定されていることから、不採択にすべき。

(全員一致で不採択)

場外馬券場の設置に反対する陳情

委員 市民の税金で建設した施設を場外馬券場にするには問題がある。

委員 旧「ゆ・ら・ら」周辺には、子供たちが集まるスポーツ施設などが多くあり、将来を担う子供たちにより影響は与えないのではないか。

委員 場外馬券場とはどういったものなのか、場外馬券場を旧「ゆ・ら・ら」に設置することについてどうなのかなどについて、広く意見を聞き判断する必要がある、市民に意見交換の機会を提供するといったことから継続審査にすべき。

(賛成多数で継続審査)



産業経済委員会では、議案審査の前に全員で現場を視察、確認しています。(写真は、広瀬の雨水ポンプ場工事現場)

産業経済委員会

市道路線の認定について

委員 市民生活に根ざした道路管理に徹してもらいたい。

(全員一致で可決)

高梁市松山自然休養村管理センターの指定管理者について

委員 他の施設にもかわかることだが、用途や目的の終わった施設は、その時点で見直しをかけて整理すべきである。(全員一致で可決)

平成26年度高梁市一般会計補正予算(第7号)

委員 繰り越しを抑えて、なるべく年度内に事業を完了すべきである。

(全員一致で可決)

市民生活委員会

高梁市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

委員 国の責任において行われるべきことが、地方分権のもと市町村へ下ろされてきている。こういった流れを批判する意味からも反対する。

(賛成多数で可決)

高梁市介護保険条例の一部を改正する条例

平成27年度高梁市介護保険特別会計予算

委員 年金が引き下げられ、消費税が上がる中、さらに市民負担が増すことになる介護保険料の引き上げには反対する。

(賛成多数で可決)

平成27年度高梁市国民健康保険特別会計予算

委員 基金を取り崩して、保険税を据え置くこともできると考える。保険料の引き上げを前提とした予



算には反対する。

(賛成多数で可決)

年金削減の取り止めと最低保障年金制度の実現を求める請願

委員 年金制度は、将来を見据えた財源の確保も含めて、国が責任を持って運営するもので採択すべき。

委員 人口減少や、受給者数と被保険者数のバランスが崩れている中で、やむを得ない国の措置で不採択にすべき。

(賛成少数で不採択)

○議事を傍聴しませんか○
 本会議および委員会は公開を原則としており、傍聴ができます。実際に傍聴されれば、紙面では伝えることのできない会議や議員の生の活動がよくわかると思います。



高梁城南高等学校 × 高梁市議会 コラボレート2年目に突入!



岡山県立高梁城南高等学校デザイン科の皆さんとのコラボレート企画も2年目を迎えます。今回の表紙を飾っていただいたのは、デザイン科2年生の和泉谷まりもさんの作品です。テーマは薬師院。製作上のポイントは、竹の葉に結ばれたお守り。「朱色の鳥居の表現と、社の格子戸を均等に描くことに苦勞しました」と話して下さいました。高校生活では、「課題が多いので期限を守って頑張りたい」とのこと。その責任感の強さで、将来の夢であるデザイナーへの道を歩んでほしいと思うのでした。



気になるスポット

The spot of Takahashi

成羽町布寄の夫婦岩

絶景で有名な成羽町布寄地区の夫婦岩。かつては地元の方のみが知る奇岩でしたが、今ではテレビ番組でも頻繁に取り上げられ、訪れる方が絶えません。眺望をさえぎっていた木々は剪定され、展望台やそこまでの山道が整備されています。近年では、ブドウ畑の隣にある70アールもの休耕地を活用した、春の「菜の花祭り」や夏の「ひまわり祭り」が開催されています。訪れるたびに、地域への愛情がちりばめられているのを発見することができる場所です。



夫婦岩



菜の花祭り

編集後記

編集にあたりましては多くの方にご協力いただきありがとうございました。この記事を書いている時点では統一地方選挙戦真ただ中でしたが、景気回復や地方創生への期待が論じられる一方で、一部の有権者は冷めてしまっているのを感じざるを得ませんでした。多くの選挙区での無投票当選、低投票率になっていることから、今回全国的にも同様だったのではないかと思います。本誌が市民の政治意識高揚の一助となることを願うとともに、日頃の活動の大切さを実感しています。
 (石田芳生)

編集
 議会広報調査特別委員会

- 委員長 宮田 公人
- 副委員長 宮田 好夫
- 委員 森田 一夫
- 委員 大森 誠生
- 委員 石田 芳生
- 委員 石井 聡美

☆ご意見はこちらまで

高梁市議会事務局

高梁市松原通2043

☎08669-21-0276